



大学生が輝く“まち”再生プロジェクト 報告会



■ 本日のメンバー

- 石渡崇晶 埼玉県さいたま市出身
- 浅野 翔 茨城県水戸市出身
- 河村涼平 東京都青梅市出身
- 南家健志 群馬県太田市出身
- Amey Kanchan Kulkarni インド出身

本日いないメンバー

- 赤津 遼

茨城県常総市出身



- 小野翔亮

茨城県ひたちなか市出身



- 高井智文

福島県いわき市出身



OB・OG

- 遠藤茉弥
福島県郡山市出身



- 宮内一磨
千葉県千葉市出身



- 若林優紀
長野県長野市出身



- 正木彩花
大阪府堺市出身



守谷市・大学生・町内会3者の概要



- 本プロジェクトの企画
- シェアハウス家賃の負担
- 学生への活動提供etc...



- 市外の大学生・大学院生
- 町内会・地域活性化への参加
- 原則3人でシェアハウス



- 学生への活動提供
- 各種学生の補助
- 学生企画の相談etc...

本プロジェクトの年表

2016年 10月ごろ	シェアハウス入居者募集開始
2016年 11月ごろ	第一回の入居者引っ越し (遠藤, 若林, 正木, 赤津, 石渡, 浅野, 南家, 宮内) ※赤字は女性
2018年 3月ごろ	年度が替わり, 入居者の入れ替わり (遠藤, 若林, 正木, 宮内)→(高井, 小野, 河村, アメイ)
2018年 11月27日	★本日★ 今までの活動報告と, 改めて事業の意義等を, 市役所にて報告させていただきます

大学生が輝く“まち”再生プロジェクトの活動
状況を知る

地方創生について、みずき野を題材に
改めて考える

本日のアジェンダ

本プロジェクトの現状・課題報告@石渡

大学生が輝く“まち”プロジェクトについて、
約2年間に携わった活動の一部を紹介しながら、
振り返っていきます

今後の展望とまとめ@適宜

現状や課題を踏まえて、今後やりたいことなど、
今後の展望を中心にまとめを行います

エクセル跡地利活用に関する提案@浅野

みずき野にあったスーパー「エクセル」の跡地の
利活用について、学生目線から提案をします

本日のアジェンダ

本プロジェクトの現状・課題報告@石渡

大学生が輝く“まち”プロジェクトについて、
約2年間に携わった活動の一部を紹介しながら、
振り返っていきます

今後の展望とまとめ@適宜

現状や課題を踏まえて、今後やりたいことなど、
今後の展望を中心にまとめを行います

エクセル跡地利活用に関する提案@浅野

みずき野にあったスーパー「エクセル」の跡地の
利活用について、学生目線から提案をします

- ビジョン
- 活動総括
- 現状の課題
- 課題の解決策

- ビジョン
- 活動総括
- 現状の課題
- 課題の解決策

「多世代共住」モデル地域 守谷みずき野



各世代ごとの現状



第一世代

最も人数が多い
町内会への参加率が高く、
横の繋がりが強い



第二世代

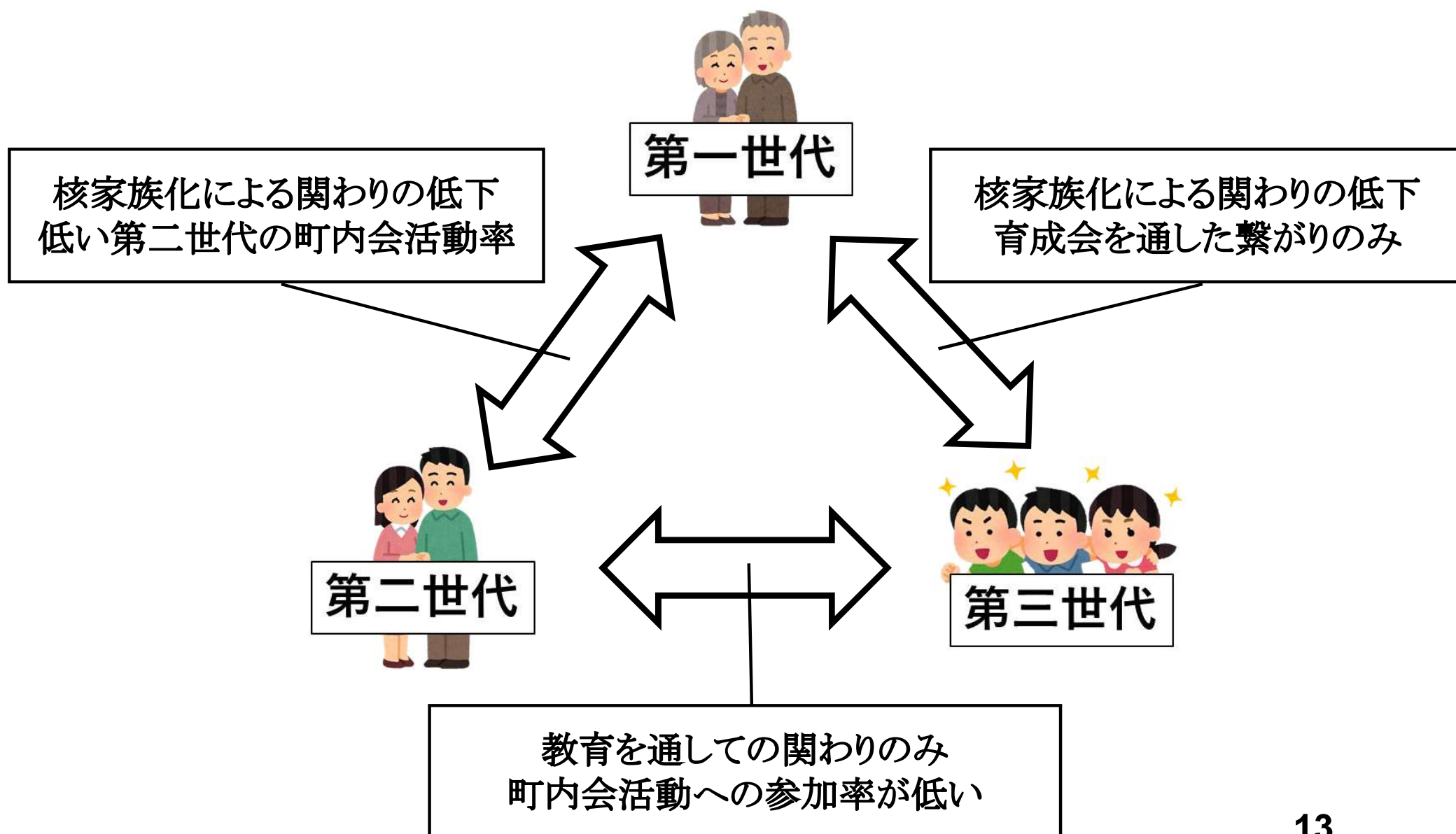
町内会への参加率が低く、
横の繋がりも弱い



第三世代

所属する学校によって、
横の繋がりが様々

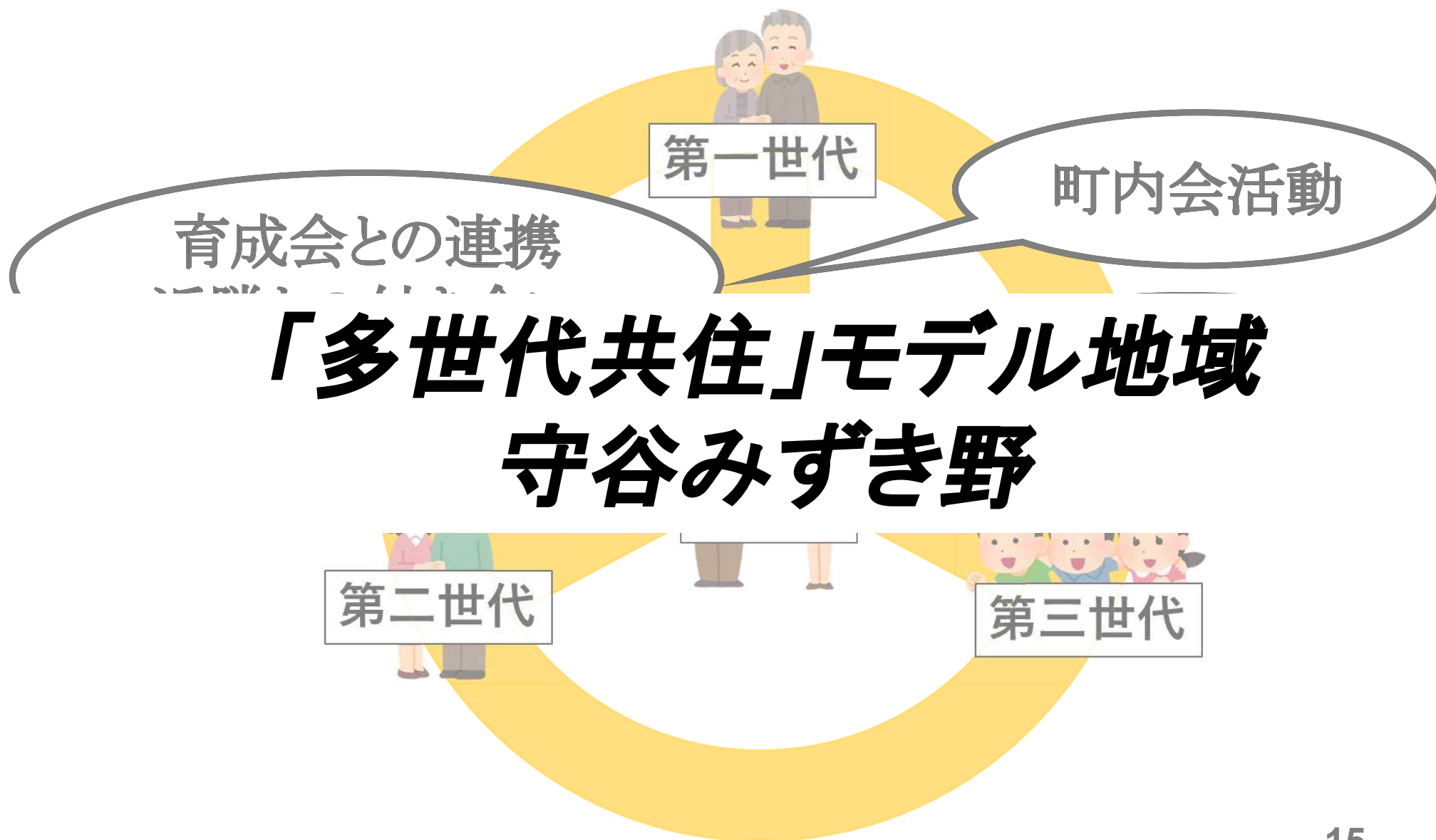
各世代間の乖離



以上までの背景から



■ 以上までの背景から



- ビジョン
- **活動総括**
- 現状の課題
- 課題の解決策

サタデー学習支援教室指導員(市)

- ▶「学習の習慣を
身に着けさせる」
を念頭に指導する
- ▶小学校高学年が対象
- ▶土曜日に不定期で開催
- ▶大学生4名が参加

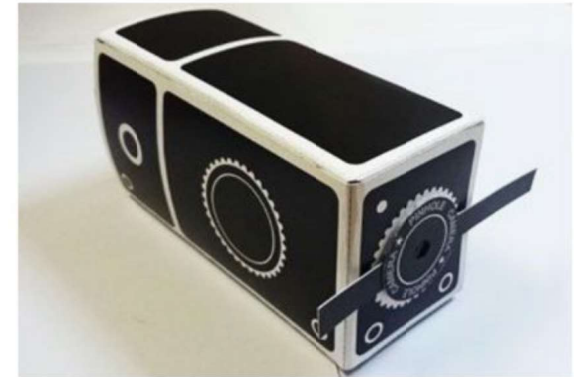


http://www.city.moriya.ibaraki.jp/smph/kosodate_kyouiku/kyoiku/shidoshitsu/news/2015/201510/151007.html

今まで経験した中で一番楽しいバイトです。 毎
回子どもたちから元気を吸収し、
日常生活の活力としています (南家)

理科実験教室の企画・運営(市)

- ▶サタデー教室の特別企画
- ▶理科を身近に感じて
もらう科学工作を提案
- ▶資料作りから行う
- ▶ピンホールカメラと
バランスストンボを作成
- ▶今後も企画をします



資料作りや運営を通して様々な力も身に付き, 児童の純粋な驚きも嬉しかったです(石渡)

子ども寺子屋指導員(町)

- ▶ 夏休みの宿題である、ワーク、絵画、書道の手助け
- ▶ 8月3日間町内会の集会所にて開催
- ▶ シェアハウス事業の概要に加え、朝日新聞にその様子が掲載された



出典: 2018年8月18日「朝日新聞 茨城版」

地域のイベントで子どもと関わる機会が少ないため、非常にいい機会でした(高井)

インド式計算教室の企画(町)

- ▶インド出身のアメイさん
を中心に企画
- ▶インドの聖典である
Vedic Mathematicsを指導
しかし...



- ▶参加者が集まらない
- ▶育成会との連携不足等の課題あり

模擬授業をととても熱心に聞いていただき、
他の企画もやりたいと思った(アメイ)

預かり保育ボランティア(町)

- ▶ 卒園した小学校低学年の児童を指導
- ▶ 宿題の補助や遊び
- ▶ みずき野幼稚園にて開催
- ▶ 7～8月に2週間程度
- ▶ 小学生がいない場合は、
保育士の補助として幼稚園児と遊んだ



普段絶対に接することのない園児や児童と遊び、
貴重な経験ができました(赤津)

小学校における陸上指導(町)

- ▶ 体育学科かつ陸上部である
小野さんが主体で開催
- ▶ 対象は6年生
- ▶ 守谷市小学生陸上競技会に
向けた指導
- ▶ もも上げや走る姿勢など
基礎から指導を行った



出典: 郷州小学校学校だより

子どもたちが真剣に話を聞いてくれ、飲み込みも早く指導がしやすかったです(小野)

ソフトボールサークルへの参加(町)

- ▶みずき野ソフトボールサークル「ラークス」のメンバーの一員
- ▶毎週土曜日の朝に利根川の河川敷にて開催



地域の方々とスポーツを通じて繋がりが持て、自身のリフレッシュにもなります(高井)

中学校における部活動の補助(市)

- ▶けやき台中学校の
女子バレー部における補助
- ▶守谷中学校にの
女子バスケット部における補助
- ▶学校ごとに、開催頻度や場所は様々



自分が好きなこと、得意なことでまちの人と関わる
機会はそう多くないので、貴重な体験をさせても
らっています(浅野)

みずき野夏祭り(町)

- ▶みずき野の一大イベント
- ▶去年はワークショップを,
今年は大人同窓会の補助や
を神輿担ぎを中心に活動
- ▶思い出マップの紙媒体化や,
大人同窓会の活気再生など,
まだまだ伸びしろがある

夏祭りで改めているいろいろな方がまちにいることを知り、活動意欲が湧きました(河村)



各種イベント補助(町)

▶間伐作業の補助

さくらの杜公園の間伐を
お手伝いした

周辺住民の利用頻度が高く
やりがいを感じました(高井)

▶お花見会の運営

玉入れや輪投げなどの
レクをお手伝いした

高齢者の元気な姿が、
とても印象的でした(石渡)



各種イベント補助(町)

▶合唱団発表の受付

みずき野の合唱サークル
「ヴェルフォーレ」の発表
を聞きつつ、手伝いをした
当日は、サークルの方々と
お昼ご飯を一緒に食べた



ヴェルフォーレの皆さんの歌声に聞き入ってしまいました。そのような方々のお手伝いができ、とても楽しかったです。(小野)

- ビジョン
- 活動総括
- **現状の課題**
- 課題の解決策

現状

大学生が各世代の方と関わりを持つことができているものの、各世代間を繋げるような活動ができていない



課題

大学生を中心に、各世代間を繋げなければ、「多世代共住」とならない
それぞれの世代が独立して、生活を送っている



現状

守谷市，町内会，大学生の3者間の情報共有ができていない
うまく連携が図れていない



課題

これら3者間の連携が無ければ，
円滑なイベント立案や，
双方の相乗効果が生まれない
3者の協力により，魅力ある
事業立案ができる可能性



現状

町内会のHPや市のHP,
回覧板, 掲示板など,
イベントに関する情報が
分散している

教育支援

まちづくり

地域活性

課題

継続的に事業を運営していく上で,
活動の参加頻度を上げるための
足かせとなってしまう
魅力的なイベントが開かれていること自体を
知らないという機会損失に繋がる

現状

本プロジェクトの知名度が低い
活動への理解・関心が乏しい
情報共有にも有効に使える



課題

新規入居者の獲得が難しくなる
事業拡大による周辺住民や町内会への理解
を得るための媒体がない

- ビジョン
- 活動総括
- 現状の課題
- **課題の解決策**

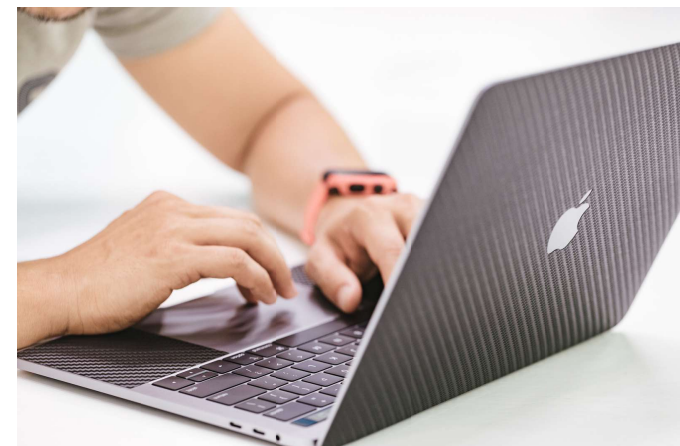
定期合同ミーティングの開催

守谷市，町内会，大学生が
定期的に情報共有する
ミーティングを開催
2カ月に1回程度を目安



ホームページの開設・運営

大学生の活動を発信する
HPを開設し，
各活動に対して
積極的に情報発信を
行っていく



郷州サポートメーリスへの登録

郷州小学校との連携を強化することで、より第2,3世代との関係性を強化する



<http://moriya.jed.jp/~gousyu>

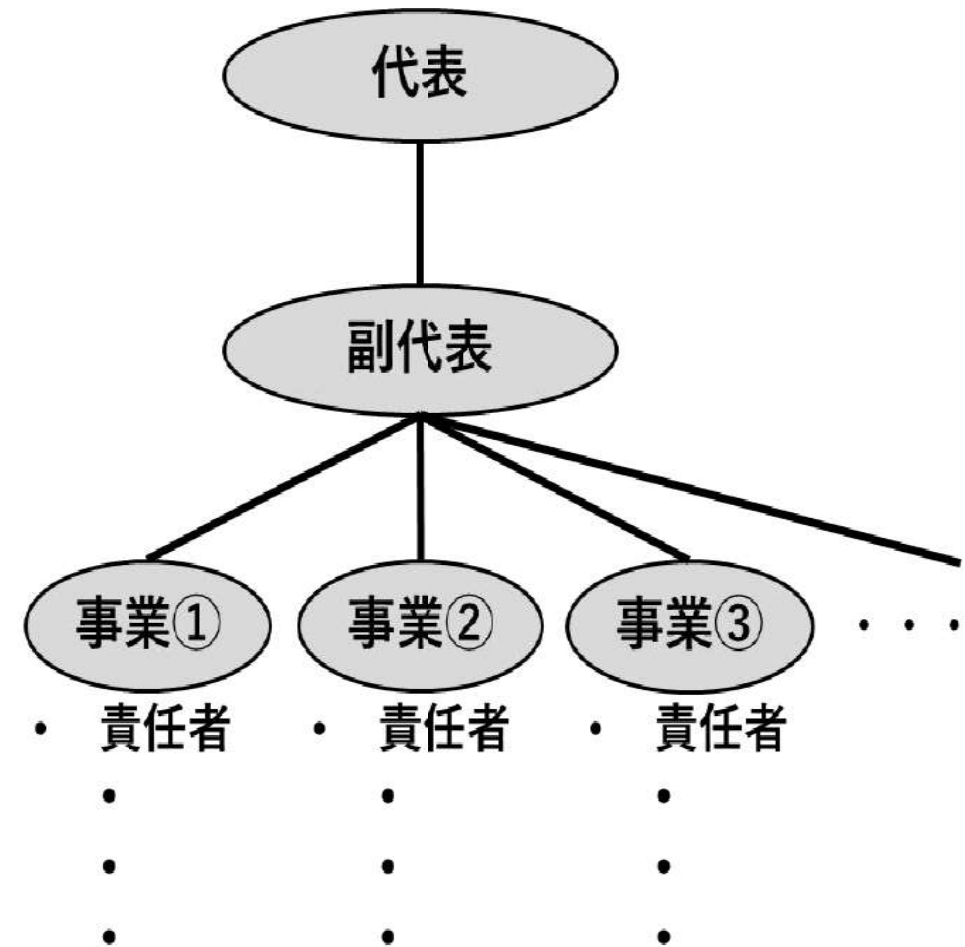
Googleグループによるイベントの整理

カレンダーやメーリスをうまく活用し、大学生がイベントを周知できるようにする



プロジェクトメンバーの組織化

各事業ごとに
責任者を配置し、
代表と副代表とで
うまく組織化する
それによって、
今後とも事業が
拡大しても、
機能するような
プロジェクトとする



本日のアジェンダ

■ 本プロジェクトの現状・課題報告@石渡

大学生が輝く“まち”プロジェクトについて、
約2年間に携わった活動の一部を紹介しながら、
振り返っていきます

■ 今後の展望とまとめ@適宜

現状や課題を踏まえて、今後やりたいことなど、
今後の展望を中心にまとめを行います

■ エクセル跡地利活用に関する提案@浅野

みずき野にあったスーパー「エクセル」の跡地の
利活用について、学生目線から提案をします



今後の展望とまとめ



- 来期以降の事業名称
- 若者の定住に向けて
- 来期以降にやりたいこと
- 本日の総括

- 来期以降の事業名称
- 若者の定住に向けて
- 来期以降にやりたいこと
- 本日の総括

■ 本プロジェクトの特徴

- ▶ 市外・県外から，学生が守谷市に**飛び込む**
- ▶ まちの人たちと**関わる**
- ▶ まちの人たちとまちを**創る**



“飛び込む・関わる・創る”
守谷学生シェアハウス事業

- 来期以降の事業名称
- **若者の定住に向けて**
- 来期以降にやりたいこと
- 本日の総括

若者の定住に向けて

Uターンの現状

- ▶Uターンをしているのは、シニア夫婦ではなく
平均年齢37歳，独身者
- ▶大学進学で上京
- ▶働き盛り
- ▶東京生活へのストレスがきっかけ
- ▶子供が独立したからではなく，両親の家の
近くに住むことを望んでいる
- ▶スローライフを求めてではなく，
別の企業に転職したことがきっかけ

地域愛着を持つ人がUターンを選ぶのではないか

若者の定住に向けて

地域愛着の拠点作り

- ▶世代を問わずに地域愛着が持てるようなまちづくりや拠点作りが重要？

地域愛着の形成に向けて

- ▶まちに興味を持ってもらうこと、知ってもらうこと
- ▶まちの人たちと深く関わることで生活が豊かになるような仕組み・拠点

そこに住まう人の誰もが利用でき、
交流を図れる施設に期待します！

- 来期以降の事業名称
- 若者の定住に向けて
- **来期以降にやりたいこと**
- 本日の総括

来期以降にやりたいこと

公園でキャンプ会(町)

飯盒炊飯やキャンプファイヤーを通して、多くの世代が行き交うイベントを目指す



学童と連携した教育事業(町)

郷州小学校との連携や、更なる学習支援事業の拡大として、学童と連携した事業を展開したい



- 来期以降の事業名称
- 若者の定住に向けて
- 来期以降にやりたいこと
- **本日の総括**

大学生の輝く“まち”再生プロジェクトに参加
してみたの感想

本プロジェクトに参加して学んだこと

Fin.



本日のアジェンダ

■ 本プロジェクトの現状・課題報告@石渡

大学生が輝く“まち”プロジェクトについて、
約2年間に携わった活動の一部を紹介しながら、
振り返っていきます

■ 今後の展望とまとめ@適宜

現状や課題を踏まえて、今後やりたいことなど、
今後の展望を中心にまとめを行います

■ エクセル跡地利活用に関する提案@浅野

みずき野にあったスーパー「エクセル」の跡地の
利活用について、学生目線から提案をします



守谷市みずき野地区 エクセル跡地利活用に関する提案



世代間交流理論

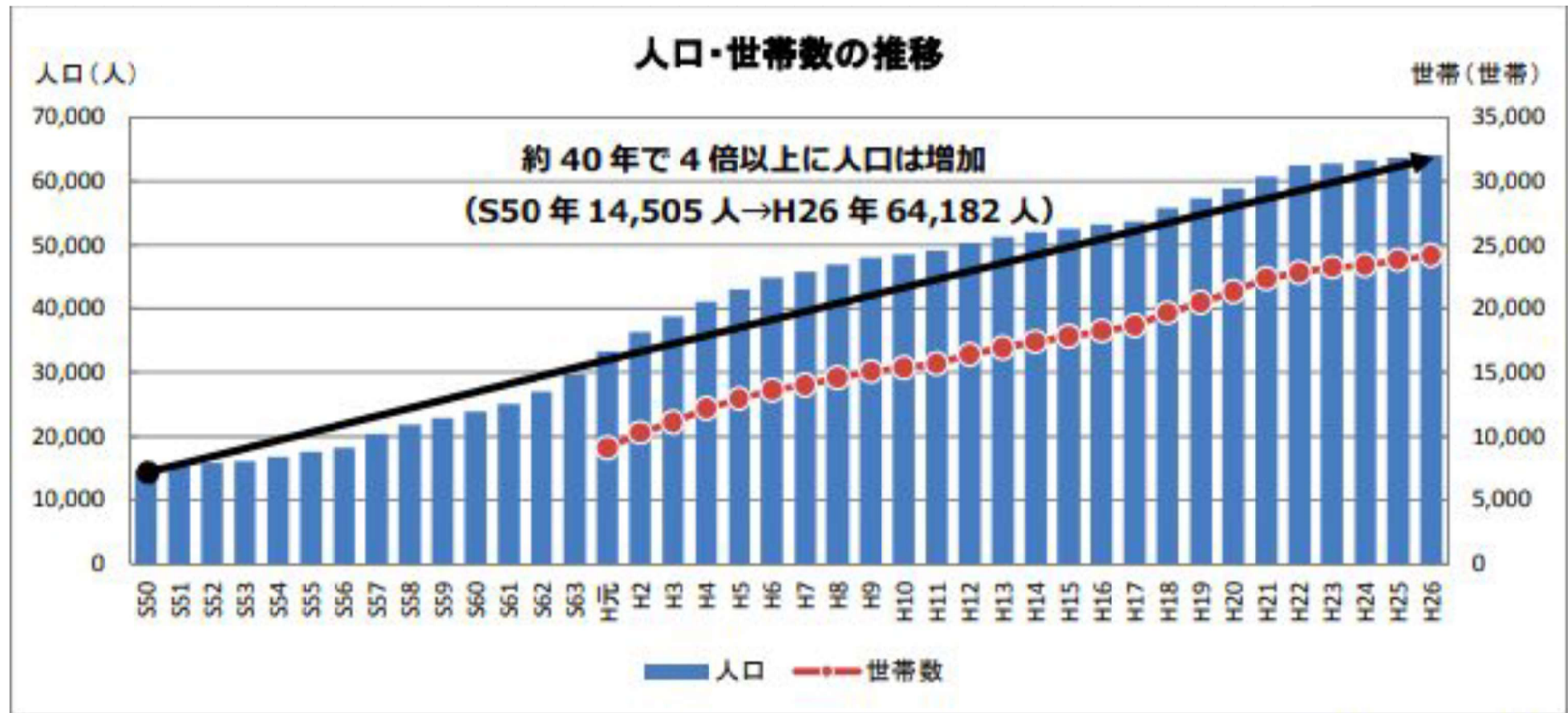
▶子供・青年・中高年世代のものが、お互いに能力や技術を出し合って、自身と周りの人、そして社会に役立つ健全な地域づくりを实践する活動

ex)高齡者ケア，育児，食事，教育，交流など

“世代を超えて共に助け合い，共に生活するまち”として，まちそのものの価値を新たに見出し，
U・I・Jターンしたいまちを目指す

- 現状
- ニーズ
- 目的
- 提案
- 効果

- 現状
- ニーズ
- 目的
- 提案
- 効果



http://www.city.moriya.ibaraki.jp/shikumi/project/matihitosigoto/moriya_m_h_s.files/all.pdf

資料：常住人口調査

守谷市全体では、
人口・世帯数共に増加傾向にある

高齢化と若年層の転出

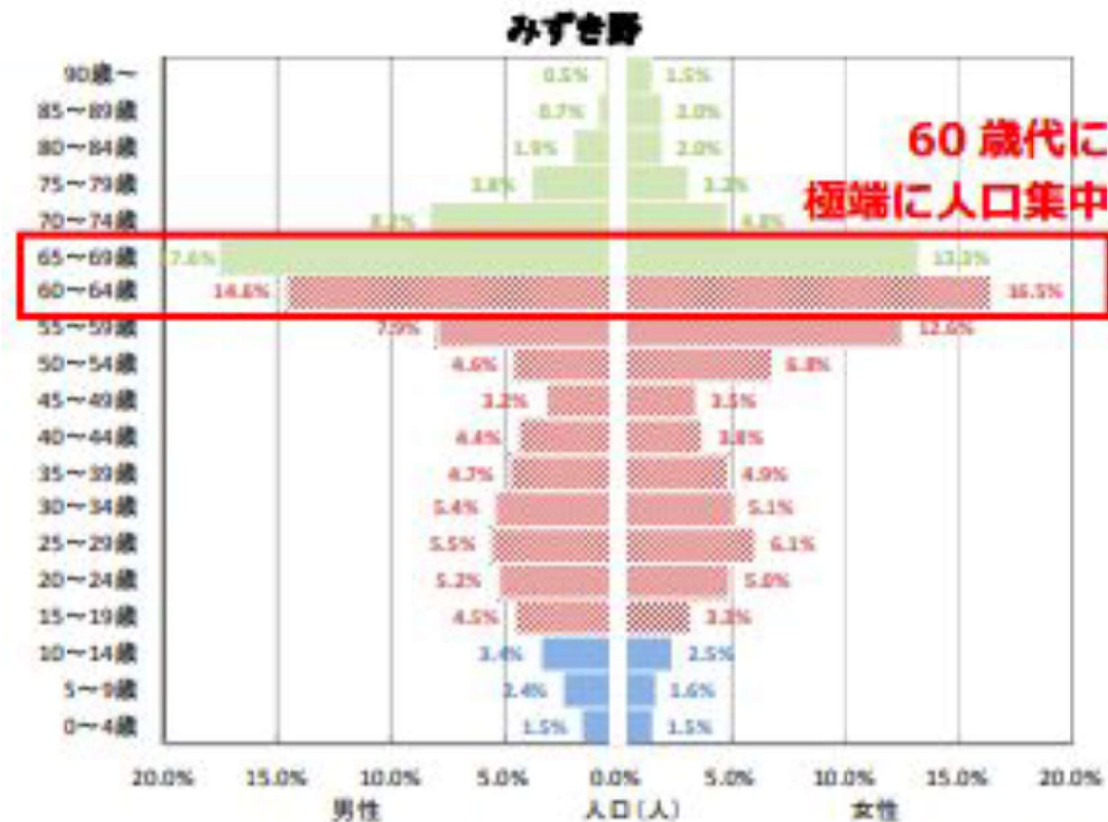
- ▶宅地開発によって人口が増加傾向にあるが、開発から時間が経っている地区で高齢化の傾向
- ▶高校卒業・就職・大学進学を機に、市外・県外へ転出する若年層が多数存在

まち・ひと・しごと創生総合戦略

- ▶住まう場としての魅力を高め、U・I・Jターンを創る
- ▶将来にわたって持続可能な新しいまちを創る

若年層を中心としたU・I・Jターンへの期待

- ▶1972年から開発が始まり，80年代～90年代にかけて形成された戸建住宅地
- ▶現在は約2,000戸，人口約5,000人が在住
- ▶守谷市内で特に高齢者の割合が高い地区の一つ

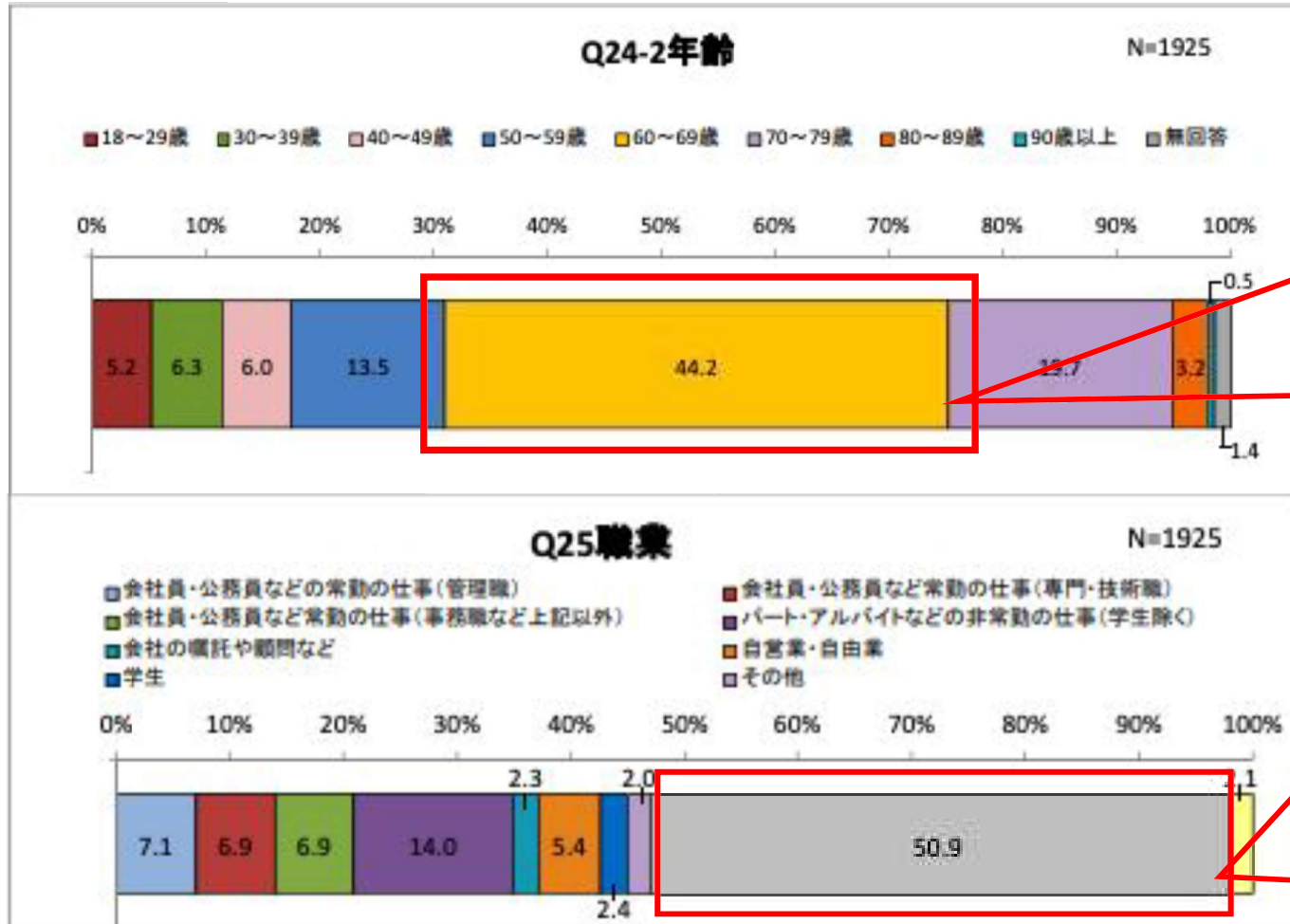


資料：常住人口調査

目指すまちの像(守谷市HPより)

- ▶ 自宅で安心して生活できる地域
- ▶ お互いが支え合える地域
- ▶ 個々の能力を活かして, 元気に暮らせる地域
- ▶ 安心・安全に暮らせる地域
- ▶ 生活の不便を解消する

年齢層・職種



- ・住民の半数以上が60代以上の高齢者
- ・若年層は非常に少ない

- ・現在は仕事をしていないという層が半数
- ・学生は全体の7%

http://www.city.moriya.ibaraki.jp/shikumi/project/matihitosigoto/mi_questionnaire.files/answer_p.pdf

成熟したまち・みずき野

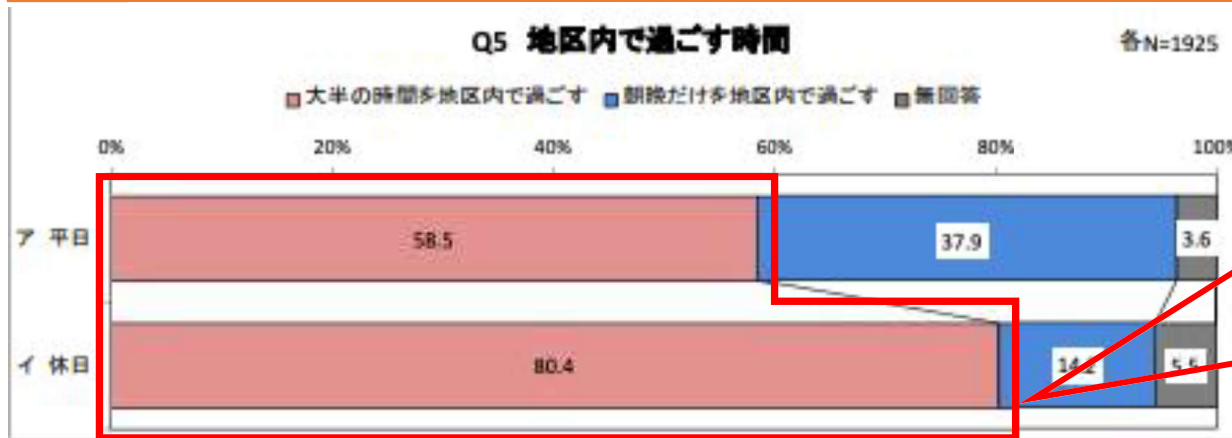
- ▶みずき野町内会単独でHPを開設
- ▶様々な業界に精通した豊かな知識
- ▶町内会単位で行われる
数多くのイベントや
サークル活動



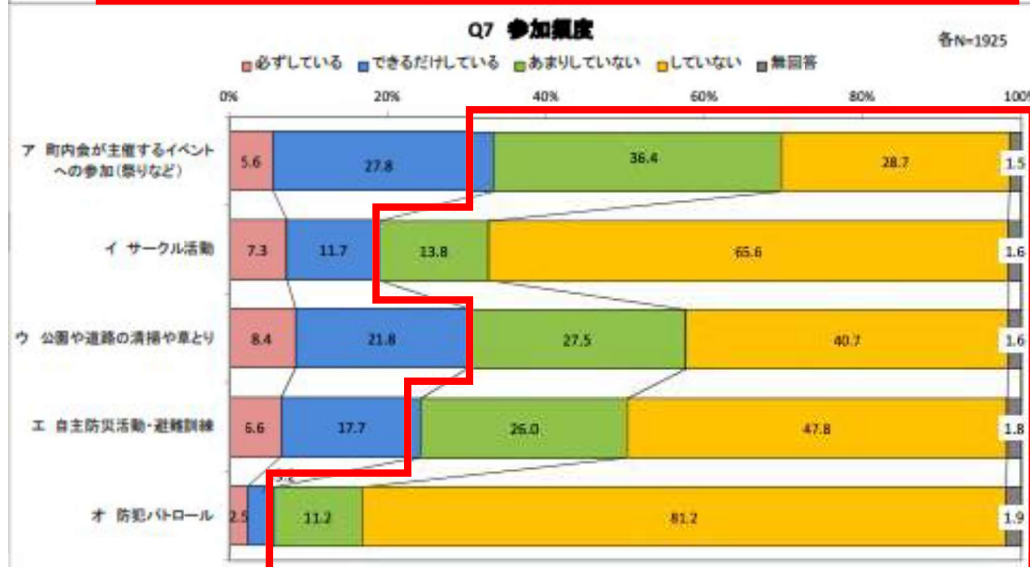
<http://www.mizukino-chonaikai.org/>

全国的に見ても、
非常に文化レベルの高い地域であると言える

みずき野地区の持つ可能性



地区内で大半の時間を過ごす人が多い
→ 平日・休日共に半数以上が該当



今後地区内の活動に参加することで
さらにまちの活力となる可能性が高い

http://www.city.moriya.ibaraki.jp/shikumi/project/matihitosigoto/mi_questionnaire.files/answer_p.pdf

みずき野地区の持つ可能性を引き出したい！！

- 現状
- ニーズ
- 目的
- 提案
- 効果

守谷市内の文化施設

- ▶ もりや学びの里
- ▶ 公民館
- ▶ 図書館
- ▶ 東板戸井集会所
- ▶ 守谷市国際交流研修センター
- ▶ 守谷市民交流館

利用ハードルが最も低い図書館に着目
さらに、市内最大の蔵書数を誇る
中央図書館に着目

守谷中央図書館

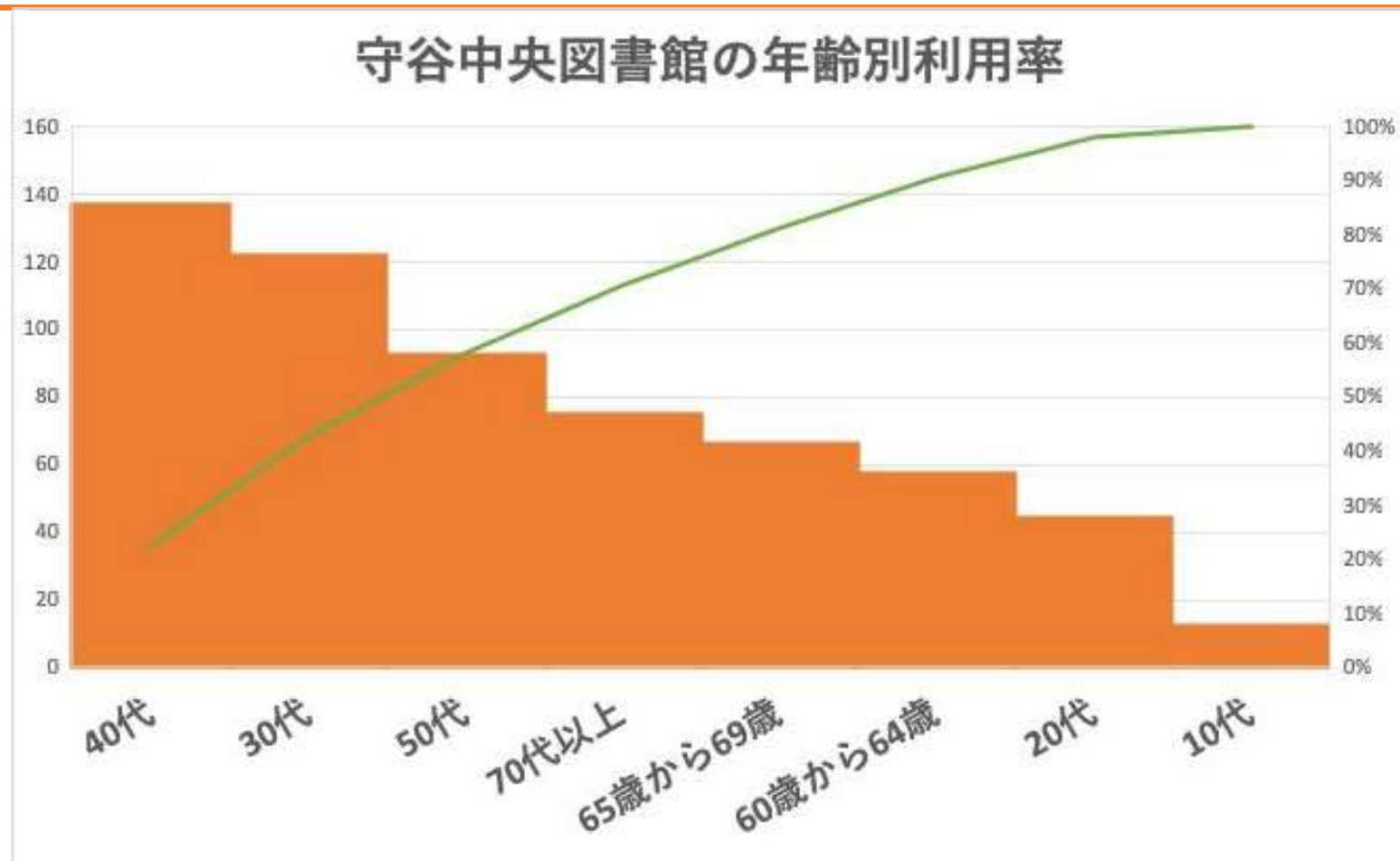


- ▶ 守谷市大柏に位置
- ▶ 人口1,000人当たり蔵書数は県内1位
- ▶ 人口1人当たり利用率は県内2位



- ▷ 自習スペース
- ▷ カフェなどの休息所の少なさ

守谷中央図書館に関するアンケート



30, 40代の利用は多いが
高齢者層および若年層の利用は乏しい

守谷中央図書館に関するアンケート

- ▶図書館の施設・サービスに求めること
 - ・ゆっくりくつろいで閲覧できる場所
 - ・学習スペース
 - ・新しい専門書の充実
 - ・カフェの併設

住環境に重要と思うもの

- ▶文化施設等の利便性
- ▶治安・犯罪発生の防止
- ▶近隣住民やコミュニティとの関わり

多機能施設があると良いもの

- ▶地元野菜の直売所
- ▶喫茶店
- ▶高齢者デイサービス

図書館に対するニーズ

- ▶くつろげるスペース
- ▶学習スペース
- ▶新しい専門書の充実
- ▶カフェの併設

みずき野住民のニーズ

- ▶文化施設の利便性
- ▶犯罪発生の防止
- ▶多機能施設にカフェを併設

市民のニーズに近い形の新しい図書館

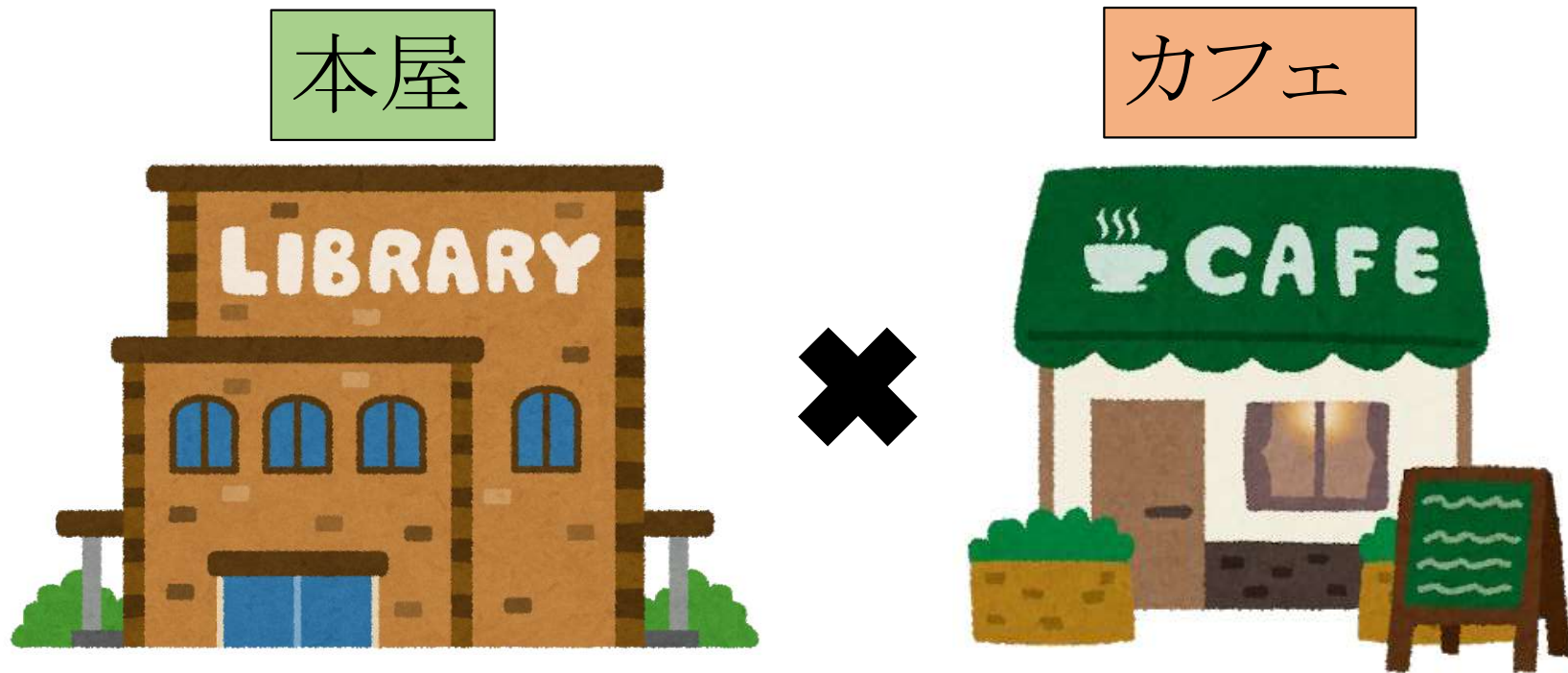
&

みずき野地区住民のニーズに沿った
施設が望ましい

- 現状
- ニーズ
- **目的**
- 提案
- 効果

目的

- ▶みずき野の住民の日常生活をより豊かにする
- ▶地域内外の人たちを繋げる
- ▶多世代の人たちが広く交流できる拠点にする
- ▶文化的側面のさらなる発展を目指す



- 現状
- ニーズ
- 目的
- **提案**
- 効果

対象地

- ▶ エクセル跡地
- ▶ 郷州小学校・みずき野幼稚園に隣接



Google マップより

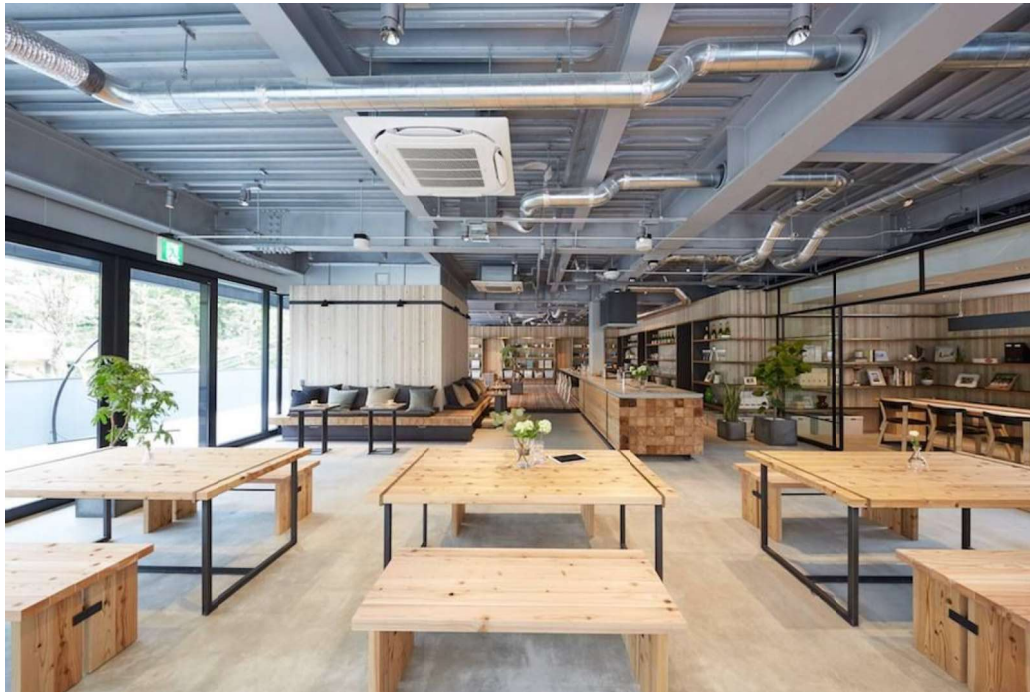
自然を感じる

- ▶芝生が整備された庭に出て、屋外でゆったりと読書を楽しむ
- ▶自然に溶け込むガラス張りの建築で、日差しを取り込んだ暖かな雰囲気



人と繋がる

- ▶読書スペースを広く確保, 気軽に利用しやすい雰囲気
- ▶開けた作りすることで, 交流にも期待



<https://anyoffice.jp/area/shibuya-meguro/harajuku/wcafe/>



<https://ibanavi.net/contents/lotasu/15/>

自分の世界に入り込む

- ▶個室を設置し、学生をはじめとした個人の自習スペースとして活用してもらおう



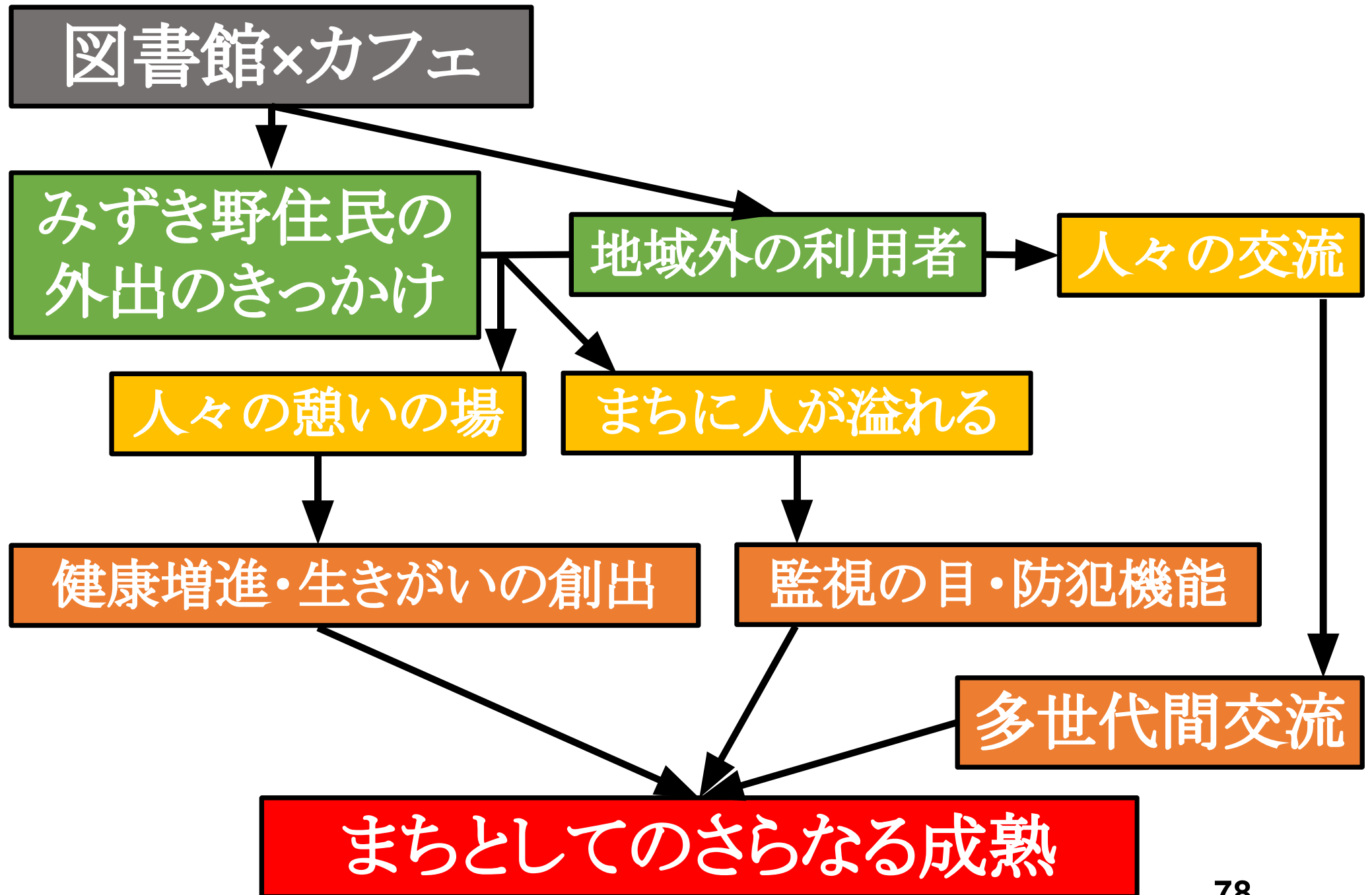
昼はブックカフェ，夜はブックバー

- ▶ 昼間は，コーヒーを飲みながら読書を楽しむ
- ▶ 夜間は，お酒を飲みながら読書や会話を
楽しむことができる

2面的な利用をすることで
世代を問わない新しい交流の拠点に

- 現状
- ニーズ
- 目的
- 提案
- **効果**

効果



参考文献

1. 村山陽(2013)「コミュニティにおける世代間交流 加藤潤三・石盛真徳・岡本卓也(編)」コミュニティの社会心理学, ナカニシヤ出版, 211—228
2. 守谷市「守谷市人口ビジョン, 守谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」.
http://www.city.moriya.ibaraki.jp/shikumi/project/matihitosigoto/moriya_m_h_s_files/all.pdf (最終閲覧:2018年11月20日)
3. 守谷市「みずき野地区の活動」,
https://www.city.moriya.ibaraki.jp/koureisha_fukushi/fukushi/tiiki/katsudou/mizukinochiku.html (最終閲覧:2018年11月25日)
4. みずき野町内会HP,
<http://www.mizukino-chonaikai.org/> (最終閲覧:2018年11月25日)
5. 守谷市,「みずき野のこれからのまちづくりに関するアンケート」,
http://www.city.moriya.ibaraki.jp/shikumi/project/matihitosigoto/mi_questionnaire.files/answer_p.pdf (最終閲覧:2018年11月25日)
6. 守谷市,「守谷市立図書館について アンケート」,
https://www.city.moriya.ibaraki.jp/communication/public_comment/H30_toshokan.files/shiryou_anke-to.pdf (最終閲覧:2018年11月25日)
7. 電通報「Uターン移住者調査結果から見えてきたヒント」,
<https://dentsu-ho.com/articles/5988> (最終閲覧:2018年11月26日)